

芸術文化振興ビジョンの改定（概要）

第 期ビジョン策定以降(H16~)の動き

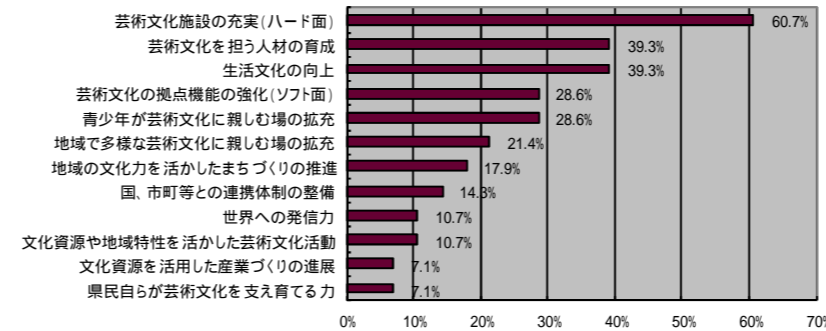
《芸術文化を取り巻く環境の変化》

本格的な人口減少社会の到来等人口構造の変化、社会の成熟化による価値観や豊かさの変容、ICT技術の発展による情報化の進展、NPOの拡大等、時代潮流がめざましく変化している。国では「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」や「古典の日に関する法律」が施行されたほか、「関西元気文化圏」の取組や、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、文化施策の基盤を強化する動きが進んでいる。

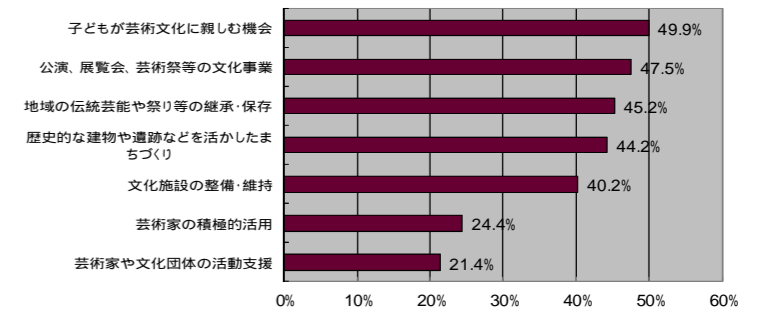
《本県の芸術文化施策の成果》

芸術文化センターや兵庫陶芸美術館、横尾忠則現代美術館等の拠点となる施設整備が進んだ。芸術家に発表・交流の機会を提供する「ひょうごアーティストサロン」の設置や、青少年に本物の芸術文化の鑑賞機会を提供する「わくわくオーケストラ教室」「ピッコロわくわくステージ」等、新たな事業展開が進んだ。

参考：芸術文化団体へのアンケート結果（H26.6）
この10年で兵庫県において取組が進んだと思われる項目（3つまで）



参考：県民モニターアンケート結果（H25.10）
地域の文化的環境の充実に必要な事項（複数回答）



芸術文化振興ビジョン検討委員会
(新野委員長：H26.6～H27.3)
による検証

- 1 芸術文化振興の根幹をなすものとして引き続き進めるもの 継続的な取組が必要（基本目標、基本方向は維持）
（芸術文化を担う人材の育成、芸術文化事業の企画・実施、芸術文化を通じた交流の機会や場の整備・充実 等）
- 2 今後さらに重点的な取組が必要なもの 改定ビジョンにおいて重点取組項目として設定
（芸術文化にふれる機会の地域偏在への対応、芸術文化情報の県内外や世界への発信、伝統文化や伝統芸能等の継承・発展 等）

芸術文化振興ビジョン【改訂版】

ビジョンの位置付け

「21世紀兵庫長期ビジョン」の趣旨や方向性を踏まえ、本県の芸術文化振興のための取組の展開方向を示す指針

計画期間

2015年～2020年（H27～32）頃の概ね6年間

基本目標

芸術文化立県ひょうご
～芸術文化が暮らしに息づき、芸術文化で人や地域を元気にする社会の実現～

基本方向

1 芸術文化を創造・発信する

全国的・国際的に評価される優れた芸術文化の創造・発信拠点としての兵庫を確立するため、芸術文化活動を実践する層の拡大を図り、優秀な人材育成につなげる。また、芸術文化センター等の芸術文化施設がその機能を一層発揮するよう施設の活性化を図るとともに、コーディネーター等の専門人材を育成する。さらに、東京オリンピック・関西ワールドマスタースゲームズ等も視野に入れ、観光分野とも連携し、ICT等を活用した国内外への情報発信の強化に取り組む。

2 芸術文化の“場”を育て広げる

芸術文化のすそ野を広げるため、空き施設等あらゆる場を活用し、県域文化団体や地域の芸術家の協力が得ながら、アウトリーチ活動を充実する。また、学校や地域と連携し、子どもたちが本物の芸術や伝統文化にふれる機会を提供する。さらに、拠点となる芸術文化施設の安全・安心で快適な施設づくりを進める。

3 文化力を高め、地域づくりに活かす

県民や地域の持つ文化力を高めるため、県民が自分の住むまちが有する文化資源や伝統芸能等に関心を寄せ、誇りを持つ「ふるさと意識」を高め、兵庫の文化の継承・発展に取り組む。また、これらを活用し、ツーリズム振興等、観光分野との連携強化を図るなど、まちづくりや産業振興につなげる。

4 みんなで支え、総合的に取り組む

県だけでなく、芸術家や芸術文化団体に加え、県民、企業、市町等幅広い主体の参画と協働により、県民全体で芸術文化を支え育てる。また、国や関西広域連合とも協調・連携を図り、県域を越えた取組も進める。

成果指標

(指標1)「住んでいる市・町で、芸術文化に接する機会があると思う人の割合」 H26：40.7% H32：50%
(指標2)「住んでいる地域で、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があると思う人の割合」 H26：49.3% H32：60% 「兵庫のゆたかさ指標」より

ビジョンの構成

【基本部分】
基本的な考え方、基本目標、基本方向は維持し、引き続き取り組む。

【新たな要素】
今後6年間の重点取組項目、成果指標による効果測定を新たに導入し、実効性を確保する。

重点取組項目

【重点1】

県民誰もが身近に芸術文化に親しむ環境の充実

芸術家等が地域へ出向くアウトリーチ活動の推進
若手芸術家の発掘・育成
県民の芸術文化活動への支援
あらゆる場の活用の促進
青少年が本物の芸術文化に親しむ機会の充実
学校教育との連携の推進
親への啓発や親子交流の促進
芸術家を支え育てる目を持つ観客の育成

【重点2】

「ふるさと意識」に根ざした兵庫の文化の継承・発展

伝統文化や伝統芸能等の継承・発展
芸術文化を通じた世代間交流の仕掛けづくり
学校や家庭、地域での芸術文化教育の充実
地域文化の発掘・保存・活用
文化財等地域の文化資源の活用支援
地域の文化力等を活用したまちづくりの推進

【重点3】

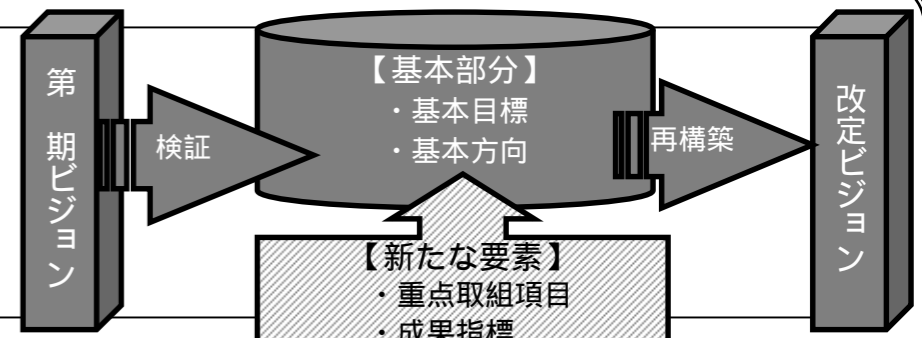
兵庫の分厚い文化力の国内外への積極的な情報発信

ICT等を活用した多彩な芸術文化情報の発信等
芸術文化施設のネットワークの拡充による集客強化等、観光分野と連携した情報発信の展開
東京オリンピック等の機会を捉え、本県の文化力を活かした国際的な芸術文化事業を展開
国、関西広域連合、市町、団体、企業等との連携体制の確立

【重点4】

芸術文化施設の適切な維持・保全と活性化の推進

適切なメンテナンスによる安全・安心で快適な施設づくり
県内外の施設とのネットワークの拡充による利活用の促進
施設の効率的な運用と活性化の推進
施設運営への住民参画の促進



重点取組項目の設定